

十八編下

名流の素他
九小修那画



林

1178
36

七輯

信
氏
常
清
李
架
中

十八編上

外題の五回



1178
35



信
臣

業

清

備

男

架

子

少



七
輯

十八編上

小題
野宮



~ 13
1178
35

1178
35

不知火
物語第八
十編
上之卷

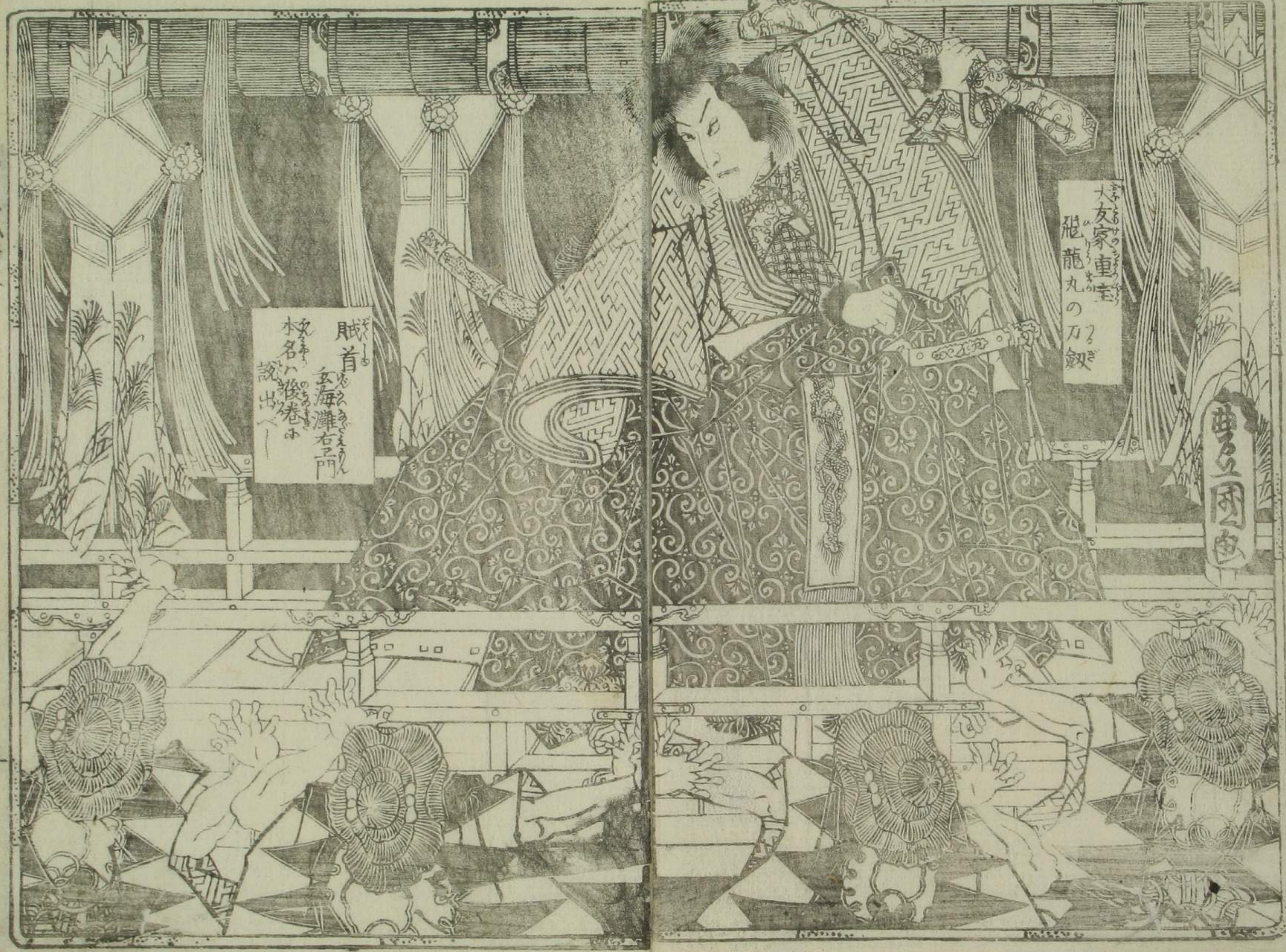
種員作
國貞画
柳下松
林合梓

一

年中行事歌合おんしゅうじふかふかくく部領使へりょうしののいいををたたしし今日けふはは拔手はきでは
ありとありなりなりけけるる嵐雪らんせつがが玄峯集げんぽうしゅうのの句くふふ角力かくりき取と並なぶぶややののききれれらら
けけるる杯見はいみええくく相撲すまゐいい和歌わがもも誹諧はいがいもも必かなら定ま秋あきのの物ものもも有ありり
されさればば拙著せつしやうのの白縫しろぬいのの初編はつぺんありあり此こゝ卷まき追出おしだささるる形かたち容ゆるはは人物にんぶつをを加くふふてて
ままををややとと種々しゆしゆ案あんをを廻まわりりてて漸思しんしひひつつふふ在三笠山さんかささんとといいふふ地名ちめいをを
蒙あせせ漢力かんりき人のの事ことをを交まじ作まびび製本せいほん成なてて發兌はつたいの時とき節せつももここととううつつ
ああひひののいいははららりりとと歌うたをを詠よむむ初秋しゆしゅう末ま句く小吟せうぎんとといいふふ角かく觥かう
人ひとををふふぶぶ也や秋あきのの韓かん雨うとと錦画きんが表紙へ紙しのの合卷がくわんの中のちゆうににああるるとといいふふ
繪廊えいどう小鬻せうよくががせせ

嘉永甲寅夷則
柳下亭種員記





賊首
玄海灘右門
枕名後巻中
説出

大友家重宝
飛龍丸の刀

大友家重宝



Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a play or a narrative. The text is arranged in several columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect. The text is densely packed and covers most of the page area.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or play. The text is arranged in several columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect. The text is densely packed and covers most of the page area.



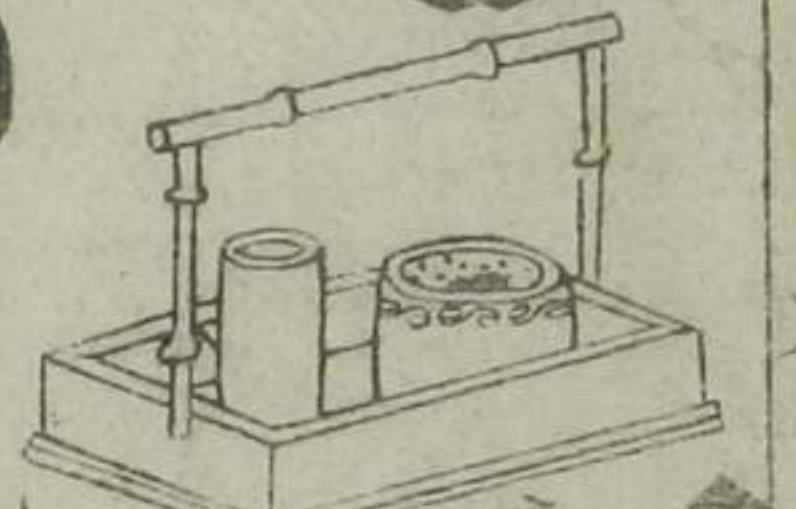
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて



先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて



先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて



先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて



先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて
先代長官の御遺徳を
追慕し奉りて

種員作

種員作
 上り此画道ハ潮助
 評の趣あり



國貞畫

土のぬい

五拾四編ヨ柳亭種彦作
 六十編ニテ一惠齋芳幾重

兩面織花田物語

初編ヨ同
 五編迄同
 近刻

重作

假名讀八大傳

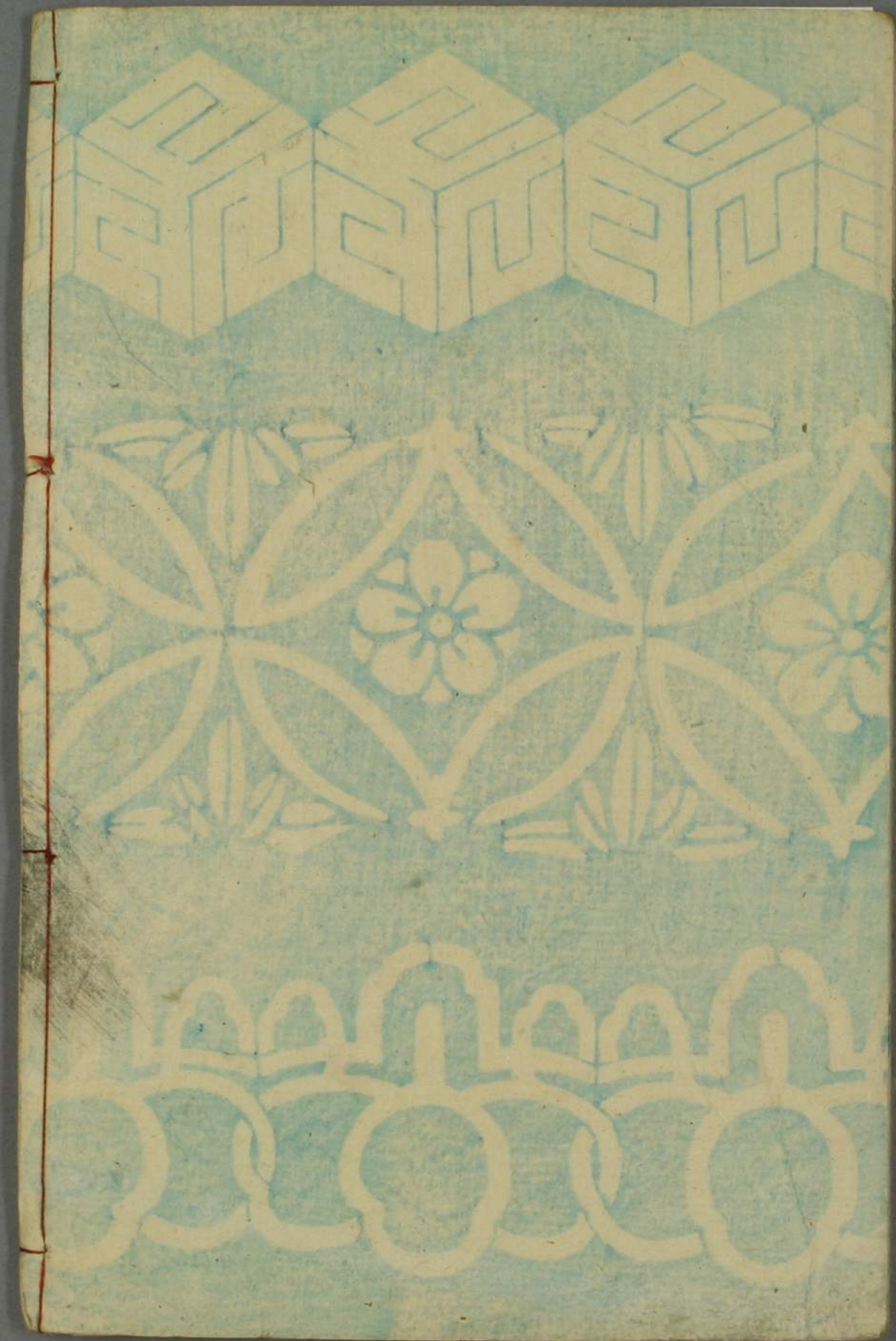
三十編ハ假名垣魯文録
 三十五編テ朝霞樓芳幾重

古今 俳優 似顔大全

故豊國公羽筆
 大錦百三番續

太平記英勇傳

中錦山々亭有人記
 百番續 惠齋芳幾圖



そはつらき春他
九ふ伝ぬ画

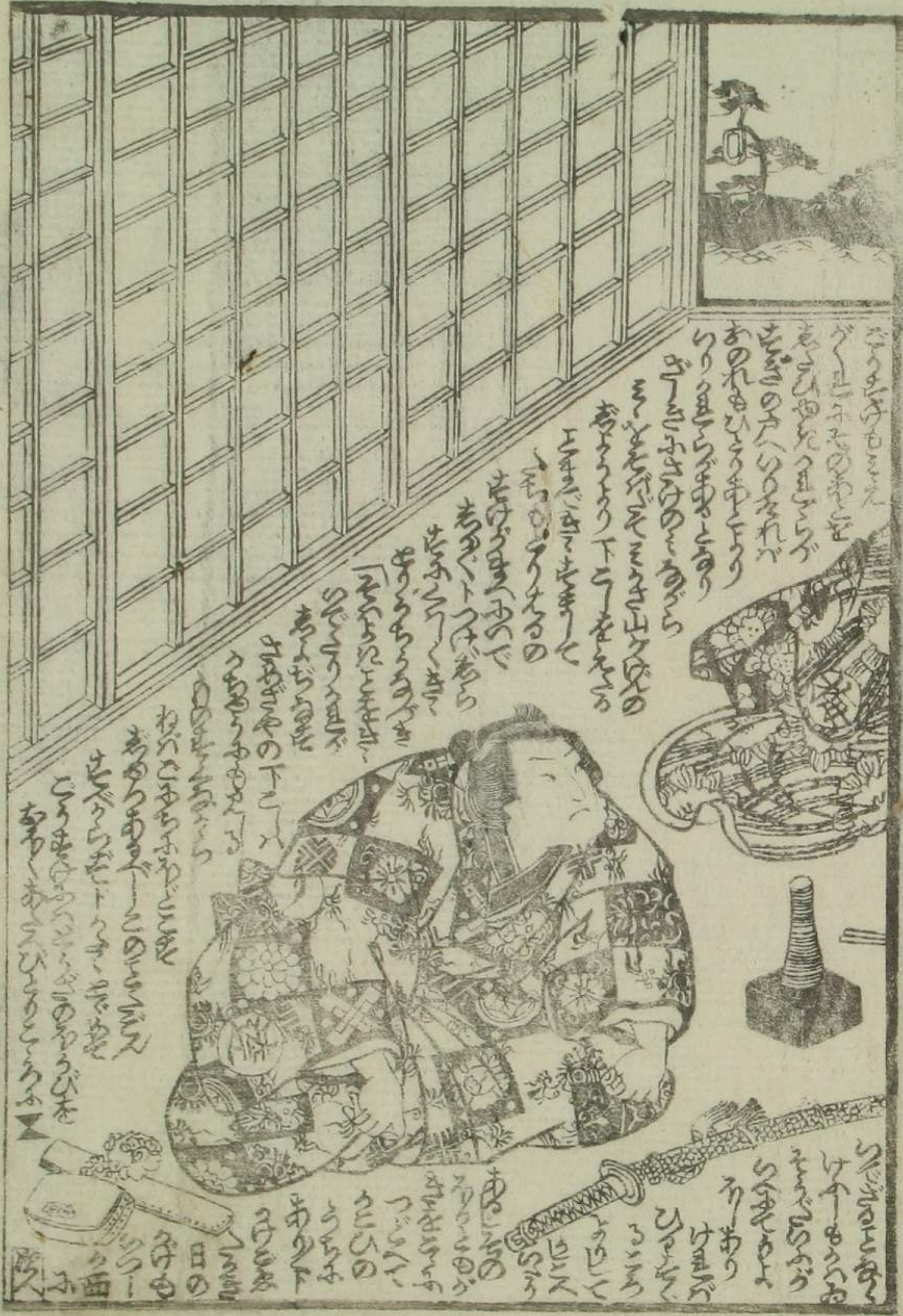
十八編下



林

13
1178
36







Handwritten text in a cursive script, likely a haikai or waka poem, located in the upper portion of the illustration. The text is arranged in several vertical columns.

Additional handwritten text in a cursive script, located in the lower portion of the illustration, interspersed among the plants.



Handwritten text in a cursive script, located in the upper portion of the illustration, above the woman and the stone lantern.

Additional handwritten text in a cursive script, located in the lower portion of the illustration, near the woman's feet and the path.



鳥の鳴き声
花の匂い
水の音
風の音
木の音
土の音
空の音
人の音
物の音
声の音
色音
味音
触音
思音
情音
心音
魂音
神音
霊音
鬼音
魔音
妖音
怪音
精音
霊音
魂音
神音

鳥の鳴き声
花の匂い
水の音
風の音
木の音
土の音
空の音
人の音
物の音
声の音
色音
味音
触音
思音
情音
心音
魂音
神音
霊音
鬼音
魔音
妖音
怪音
精音
霊音
魂音
神音



鳥の鳴き声
花の匂い
水の音
風の音
木の音
土の音
空の音
人の音
物の音
声の音
色音
味音
触音
思音
情音
心音
魂音
神音
霊音
鬼音
魔音
妖音
怪音
精音
霊音
魂音
神音

鳥の鳴き声
花の匂い
水の音
風の音
木の音
土の音
空の音
人の音
物の音
声の音
色音
味音
触音
思音
情音
心音
魂音
神音
霊音
鬼音
魔音
妖音
怪音
精音
霊音
魂音
神音



種員作國貞画

名郷音の義賊ハ
柿木金輔
右善の孝女ハ
杉三於市

朝霞樓芳幾画
浪輝黄金鯁

三編讀切

對男の縁小因て戯作劇場を一樣の竹林さるぬ七軒人が一回五葉と持ちきりの
合作全備の三編冊 初編 五丁 其水作同 十丁 有人作同 十丁 其水作同 十丁 有人作同
同 十丁 尾道 如泉作 二編 五丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同
三編 初丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同 十丁 其水作同
定ぬ一旦小筆カをばくし浮當藏板のあらぬ以同様御高評を希ふ

地本草紙回屋

江戸の佐賀町
廣國彦幸助繪

